記者発表資料

令和元年　８月２１日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について
（第二部会第１回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の令和元年度第二部会第１回定例会議が、令和元年７月４日（木）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

なお、第二部会第１回定例会議では、委員会が抽出した案件５件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
（第二部会）仙台市青葉区本町３丁目３番１号　　TEL (022)716-0013(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)
契 約 管 理 官　山田（やまだ）　賢（まさる）（内線６２２１）
経理調達課課長補佐　山内（やまうち）　恵（めぐみ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	令和　元年　７月　４日（木）　東北地方整備局 会議室
委員	部　会　長　我妻　崇【 弁護士 】 部会長代理　小出 英夫【(学) 東北工業大学 工学部 教授 】 委　　員　砂田 洋志【(国) 山形大学 人文社会科学部 教授 】
審議対象期間	平成３１年　１月　１日　～　平成３１年　３月３１日 （上記期間に契約締結した案件を審議）
審議案件	総件数　５件　（別紙―１ 審議案件一覧のとおり）

工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	１件	（備考） ・審議に先立ち、 (1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2)指名停止等の運用状況 (3)談合情報等の対応状況 (4)再度入札における一位不動状況 (5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6)一者応札の発生状況 (7)不調・不落の発生状況 (8)高落札率の発生状況 について報告が行われました。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	２件	
	工事希望型競争入札	０件	
	指名競争入札	０件	
	随意契約	０件	
建設コンサルタント業務等		１件	
役務の提供等及び物品の製造等		１件	

委員からの意見･質問、それに対する説明･回答	別紙―２のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。

別紙―1

審　議　案　件　一　覧

【工事】

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の 相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	小名浜港東港地区護岸(防波)築造工事	港湾土木工事	4者	4者	H31.2.18	東洋・本間・株木特定建設工事共同企業体	1,634,068	90.01%	小名浜港湾

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の 相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	酒田港北港地区防波堤（北）（第二）築造工事	港湾土木工事	6者	6者	H31.3.29	（株）本間組	440,640	90.45%	酒田港湾
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	酒田港北港地区防波堤（北）（第二）本体工事（その２）	港湾土木工事	1者	1者	H31.3.19	酒井鈴木工業（株）	105,840	96.49%	酒田港湾

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業　務　名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の 相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：%）	備　考
簡易公募型競争入札方式	小名浜港水準測量	測量・調査	3者	3者	H31.1.28	（株）マドック	1,836	84.88%	小名浜港湾

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業　務　名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の 相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：%）	備　考
一般競争入札方式	釜石港港湾業務艇「くろがね」定期検査修理	役務の提供等	3者	3者	H31.1.11	（有）釜石造船所	10,476	98.14%	仙台港湾空港技術調査

別紙―２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
意見・質問なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１　小名浜港東港地区護岸(防波)築造工事	
・入札価格が皆近いのですが、積算の予測がつきやすいのか？	・積算基準、見積参考資料や各種単価も公表済みであり、また、本工事は土工や基礎捨石、コンクリート打設、ブロック据付が主な工種で、港湾工事では標準的な工種となっていることから、各入札者において精度の高い積算が可能であったと思われます。このことから競争参加者の受注意欲の表れとして、低入札調査基準価格ラインに集中したと思われます。 ４者の応札額が２千円以内で近差でありますが、内訳を見ると直接工事費、間接工事費、一般管理費の経費が４者それぞれにおいて、コスト設定に開差が見られ、コストを抑える箇所の会社経営の考え方が反映されたものと考えられ、その結果、合計額が低入札調査基準価格ライン付近になったものと思われます。
・入札価格が同じ者あるが、工事費内訳に違いはあるのか？	・同価格２社について、直接工事費では９００万円程違いがある一方、間接工事費でも違いがあり、一般管理費ではほぼ同じでした。
・応札率に関係なく金額がほとんど横並びの場合は、応札者間での情報交換は考えられないか？	・入札時に提出される工事費内訳書を比較して、各社それぞれ独自に積算しているか、不自然な偶然性がないか確認しております。
・入札金額がほぼ同額であり、精緻に検証しなければならない案件と考えられるが？	・各社の工事費内訳を官積算と横並びの一覧表で比較しており、不自然な一致等がないことを確認しております。
・金額が横並びの場合、技術評価で競争しようとする応札者間での情報交換は考えられないか？	・今回は低入札調査基準価格に近いラインでの応札であり、参加各社の受注意欲の表れと考えており、まずは、価格競争で不利にならないよう、各社ともぎりぎりのところを狙ってきているものと考えております。
２　酒田港北港地区防波堤(北)(第二)築造工事	
・審議案件１に比べ、参加各社の応札額に開差が出ている理由は何か？	・工事費内訳書を比較したところでは、官積算に対して突出した開差は見受けられませんでした。落札者の入札価格が一番高くなっておりますが、特段不自然なところはありませんでした。 また、本工事は海上工事として、先の審議案件に比べ多くの作業船を使用するものであるため、他地域から作業船を調達しなければならず、下請契約も多くなり、開差が生じているものと考えております。さらに、参加各社における下請協力企業は、これまでの実績からお互い異なるものですが、当該現場での施工経験のある企業と下請調整ができる者ほど施工面や安全面などで差が出るものと考えております。

・低入札調査基準価格未満の企業は、どの辺の見積に見込み違いがあったのか？	・入札調書上段の者については、一般管理費で官積算より大きく軽減したことにより、低入札調査基準価格を下回ったと考えております。
・低入札調査基準価格を下回った場合、追加資料を提出して施工体制を立証できれば有効となるのか？	・有効となります。ただし、追加資料は全１６種類あり、短期間で準備することとなります。
・企業はどの経費で低入札となったのか分からないものなのか？	・施工体制確認時点では知り得ません。
・技術加算点は事前に読めるものなのか？	・参加申請書の中で自己採点表も提出しており、自社の得点はある程度分かっていると考えられますが、他の参加者の状況は知り得ません。
・自己採点と官採点は合っているものなのか？	・ほぼ合っております。また、手続きミス防止対策として、ダブルチェックできるよう運用しております。
・注意深く見れば他者の評価は分かるものなのか？	・他者の評価は分かりません。また、技術提案についても何処が評価されているのか知り得ません。
・技術点と価格を見ながら入札価格を決定しているということになるのか？	・そのように考えられます。
３　酒田港北港地区防波堤(北)(第二)本体工事(その２)	
・一者応札となった背景は何か？	・入札説明書をダウンロードし、技術資料の提出が可能な業者のうち参加申請しなかった地元企業１者及び過去に酒田港発注の同種工事の受注実績等がある企業２者にヒアリングをしたところ、全者「技術者の配置が困難なため」との回答でした。受注実績のある企業は、本工事が小規模工事のため参加を見送り、地元企業は、県発注工事への参加による他工事への技術者の配置が理由と推察されます。
・資料をダウンロードした者は何社いたか？	・１２社ありました。
・ヒアリングした３者は、ダウンロードしていた企業なのか？	・何れもダウンロードしていた者です。
・落札率が、高くなった理由としてどのように考えているのか？	・提出された工事費内訳書からは、直接工事費、共通仮設費及び現場管理費で官積算とほぼ同額で、一般管理費のみ圧縮が見受けられます。 　本工事では、作業船を使用しますが、作業船を自社保有しているかどうかが、直接工事費や共通仮設費に影響してきているものと考えられます。
４　小名浜港水準測量	
・本業務の積算は、比較的に簡単なものなのか？	・本業務は全国的に実施されているものであるため、比較的簡単なものであると考えております。
５　釜石港港湾業務艇「くろがね」定期検査修理	
・予定価格の範囲内が一者となっているが、特別に何か感じたところはあったか？	・入札参加者をヒアリングして、経費内訳を確認したところでは各社ばらばらで、公表されている基準はあるが、修理内容のうち、エンジンに当たる機関部、電気関係の部分については、場合によってはメーカーに依頼することから、自社の過去の実績から請負額全体として算出した経費に比べ、下請

	経費となる分、割高となって落札率が高くなっているようで、特段不自然な状況はありませんでした。
・資料をダウンロードした企業数は分かっているか？	・ダウンロードした企業はなく、今回入札参加した３者は何れも紙ベースで資料を入手しております。
・予定価格の範囲内が一者で、他者が超過となった要因としてどのようなことが考えられるか？	・落札者は、本船係留場所である釜石港内に上架施設があるため回航を要しない一方、他者の施設は釜石港内にはないことから回航を要するため、受注意欲に差異があったものと考えております。